

スタートアップと市役所が協働する、地域課題解決プロジェクト 「Urban Innovation TOYOHASHI」参加スタートアップ決定

起業・スタートアップ支援による地域活性化を目指す豊橋市は、スタートアップと市職員が協働して地域・行政課題を解決するプロジェクト「Urban Innovation Japan（アーバンイノベーションジャパン）」の枠組みを活用して、全国のスタートアップから課題解決策の提案を募り、このたび、3つの取り組みを決定しました。

今回決定した企業とそれぞれの課題を所管する担当課の職員は、9月から約4か月間、サービスの協働開発から試行導入、実証実験に共に取り組み、サービスの提供を目指します。

豊橋市では、この取り組みを通じて、スタートアップの育成と地域課題解決、さらには経済の活性化を図っていきます。

■ 審査方法、審査基準について

ウェブサイトから応募を受付けた延べ23社に対して、書類選考および面談を実施。チームの優秀度、課題の理解度、職員との協調性、新規性・創造性、継続性・収益性の基準により審査のうえ、3課題3社を採択しました。

■ 採択企業について

《課題①》 介護保険認定調査の効率 UP!訪問スケジュール最適化ツールの開発（応募4社）

担当課：長寿介護課

採択企業：あっとクリエーション株式会社（大阪市北区）

《課題②》 外国人市民へのタイムリーな情報提供を実現したい！（応募4社）

担当課：多文化共生・国際課

採択企業：ためま株式会社（広島市中区）

《課題③》道の駅のシェアキッチンで新しいビジネスを作りたい！（応募10社）

担当課：農業企画課

採択企業：Lawin（ラウイン）株式会社（愛知県東郷町）



■ 今後のスケジュール（予定）

令和2年9月～12月 スタートアップと市担当職員との協働開発・実証実験

令和3年2月 成果発表会

問合先 産業部産業課 課長補佐 石黒（電話 51-2641）